

講義名	キャリア実践論			
担当教員	小幡 祐可子			
開講期・曜日・時限	後期 水曜日 2時限	授業形態	演習	
履修開始年次	3年生	単位数	2	備考
主題と概要				
<p>大学生は、就職という社会への入口に不安を抱いている。学生は多種多様なスキルを評価する就職試験にも戸惑いがある。就活はスタートラインである「何のために働くのか」という働くことの意義を自覚し、その上で社会・企業が求めている社会人基礎力を中心とした知識と能力を自ら磨いていくことが大切である。</p> <p>就活は3年生の後期から準備が始まり、未決定の場合は卒業まで続く。就活対象者は就職活動だけでなく、卒業（卒業単位の取得）にも、しっかりと取り組む必要があり、授業は、進路決定のことを考えるだけでなく、どのように残り少ない大学生活を過ごすのか、大学生のキャリアデザインの磨めくりを行うものである。</p>				
到達目標				
<p>到達目標は、納得できる進路決定を行うことである。</p> <p>具体的には以下の3点を到達目標とする。</p> <p>卒業の単位を取得するためにどのような大学生活を送るのか計画を立てる。</p> <p>自分の希望する進路はどのようなものか考え決定する。</p> <p>自分の希望する進路を実現するために社会の現実を理解する。</p>				
提出課題				
個人と相談の上、提出課題を決定する。				
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック				
課題（レポートや小テスト等）を提出した次の授業で、課題の講評を個別に伝える。				
評価の基準				
<p>平常点、（授業への参加態度と提出課題の評価） 65%</p> <p>期末レポート 35%</p>				
履修にあたっての注意・助言他				
4年生の進路未決定者向けの授業です。就職が決まっていない、みんなと同じ就職活動では就職が決まりにくいなど進路決定に迷っている学生の履修を歓迎します。				

教科書					
.使用しない。					
プリント資料及び参考文献					
必要に応じて資料を配布し、授業内で参考文献を紹介する。					
授業計画					
<p>回数 授業計画</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 インタロククシオン-キャリア実践論について- 2 就職活動について -就職環境の現状と課題を考える- 3 就職活動について -現代社会と未来社会を考える- 4 業界・企業研究 -業界・企業研究を深める- 5 業界・企業研究 -業界・企業研究を深める- 6 社会が求める基礎力とは 7 筆記試験対策について 8 自己分析 -自分を知る- 9 自己分析 -自分の価値観と社会を結ぶ- 10 自己形成 11 履歴書・エントリーシートについて 12 面接対策-自分の考えを伝える方法- 13 面接対策-前問の感想を考えて答える方法- 14 進路決定の戦略の立て方 15 まとめ 					
授業形態（アクティブ・ラーニング）					
ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）	ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク	オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）					
準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間					
<p>授業に関連する本や新聞記事を読み、ニュースをチェックしたりする習慣を日常的に付け、特にキャリア・就職・労働・雇用・ビジネスなどといったキーワードには注目するようにしておく（毎回1時間）</p> <p>授業で学んだことの復習や実践（毎回1時間）</p> <p>基礎能力向上対策を行う（SPI）社会人基礎力等（毎回2時間）</p>					
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
当該科目は、自分の強み・弱みを知ること、働くことの意義、自分にとって良い会社の定義で志望動機を考えること、さらに、自己アピール力、プレゼンテーション力、会話を高めるための授業である。「働く目的と仕事観の醸成、自身の適性と適職探し、職種と業界の特性分析等を体系的に行うとともに、就職力を高めるための実践的科目」というキャリア科目のCPとまさに合致していると考えられる。					
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述					
授業内での対話とレスポンスを活用して双方向授業を実施する。					
実務経験の有無及び活用					
<p>実務経験あり</p> <p>キャリアコンサルティングの国家資格を有し、企業研修、人材育成に携わる。</p> <p>また、アパレル業、ブライダル業での実務経験がある他、フリーアナウンサーとして活動をしている。</p> <p>これらの経験を生かして、大学での学びや経験がどのように社会で役に立つのかを実例を交えて解説を行う。</p>					
備考					
新型コロナウイルス感染症の状況によって、シラバスを修正することがあります。					